

平成28年度環境家計簿モニターの皆様へ

地球温暖化防止に関心をお寄せ下さり、新居浜市環境家計簿の記入にご協力頂き、有難うございます。今年度の環境家計簿の集計分析の主な全体的集計結果と個々のご家庭の状況(別紙で個別に)をご報告いたします。

平成28年度のモニターで回答して頂いた方は30戸であり、そのうち太陽光発電を設置しているご家庭が6戸あり、そのご家庭の場合は、購入(消費)電力量と売電(発電)電力量を相殺して集計しました。

全てのモニター様の一家庭当たりのエネルギー種別月ごとのCO₂排出量を図1に示しています。夏期はエアコンの使用による電力消費量が、冬季はエアコンと電気暖房器具等の使用による電力消費量および深夜電力と灯油の使用量が多くなっています。

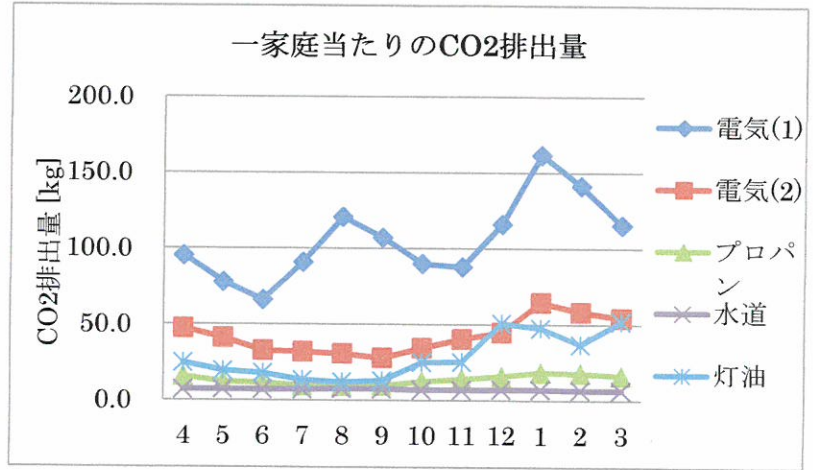


図1

原子力発電所の稼働状況によって電力会社のCO₂排出係数が変動するが、四国電力(株)伊方原発が停止していた平成27年度は排出係数を0.68として集計したが、28年度は8月以降3号機が稼働したので、排出係数を0.59と推定してCO₂排出量を計算しました。従って過年度との単純な比較はできません。

また、エネルギー種類別光熱費の割合の全家庭の平均値を図2に示しています。

電気(1)(従量電灯)と電気(2)(深夜電力など)の料金が光熱費の60%を占め、オール電化の家庭はその割合が更に大きくなっており、電気(1),(2)の区別が判別できません。モニター全家庭平均の年間光熱費は125,016円であり、太陽光発電による売電収入の増加により平均光熱費は減少しています。

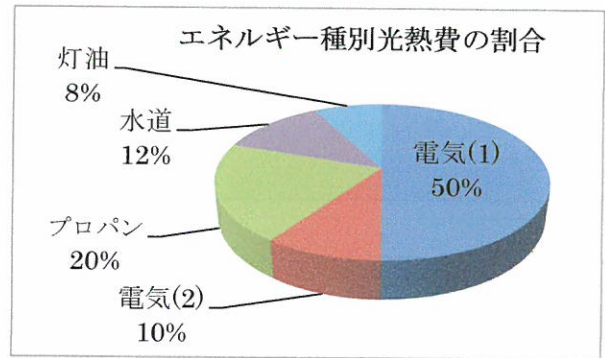


図2

別紙にそれぞれのご家庭のCO₂排出状況を報告します。過年度から継続して環境家計簿を記入されているご家庭については、可能な限り過年度のデータを記載しています。上述のとおりCO₂排出係数が年度によって変動しているため、使用電力量に対するCO₂排出量の年度毎の比較は、単純には困難です。しかし、消費エネルギーの内電力量が占める割合が多いご家庭(特にオール電化の場合など)の場合には、ご家庭のCO₂排出量をその年度の排出係数を考慮して大略の比較をすることもできます。

今後とも環境家計簿の記載にご協力頂き、ご家庭のエネルギー使用状況の改善に役立てて頂きますようお願いしています。それらのデータの集計分析は、新居浜市から委託事業として「にいほま環境市民会議」が担当しています。全体の分析結果は市のホームページ等で公表しますが、ご家庭の個別の情報はここに封書でお届けしており、公表は致しません。ご協力頂き有難うございました。

ご家庭の一人当たりCO2排出量等

近藤康夫 邸 CO2排出量(kg)

	従量電灯	深夜電力	プロパン	水道	灯油	合計
4	20.1	197.7	15.7	7.7	0.0	241.1
5	-55.5	136.9	13.8	8.3	0.0	103.5
6	-43.7	93.8	15.7	8.9	0.0	74.7
7	13.6	81.4	13.2	8.9	0.0	117.0
8	20.7	70.8	12.5	8.9	0.0	112.8
9	14.2	64.9	10.7	8.3	0.0	98.0
10	36.0	102.7	11.3	8.3	0.0	158.2
11	43.7	150.5	14.4	8.3	0.0	216.8
12	155.8	183.5	13.2	8.9	0.0	361.3
1	250.2	261.4	17.6	9.4	0.0	538.5
2	221.3	227.7	16.9	9.4	0.0	475.4
3	115.1	194.1	16.9	8.3	0.0	334.3
合計	791.2	1765.3	171.8	103.3	0.0	2831.5
月平均	65.9	147.1	14.3	8.6	0.0	236.0

項目	従量電灯	深夜電力	プロパン	水道	灯油	合計
自宅の年間CO2排出量/人(kg)	197.8	441.3	42.9	25.8	0.0	707.9
全家庭年間CO2排出量/人(kg)	625.0	250.5	80.1	41.9	166.4	1,163.9
全国平均CO2排出量/人(kg)						1,672.1

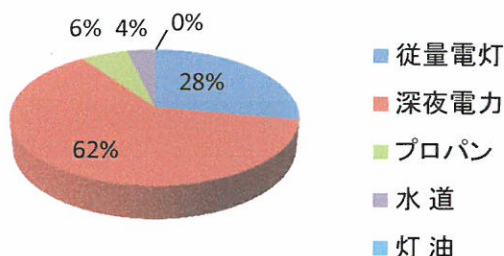
年度	26年度	27年度	28年度
CO2排出量	2,480	3,530	2,832
光熱費(円)	193,788	188,691	171,894
売電料金	88,080	78,624	69,949

特記事項

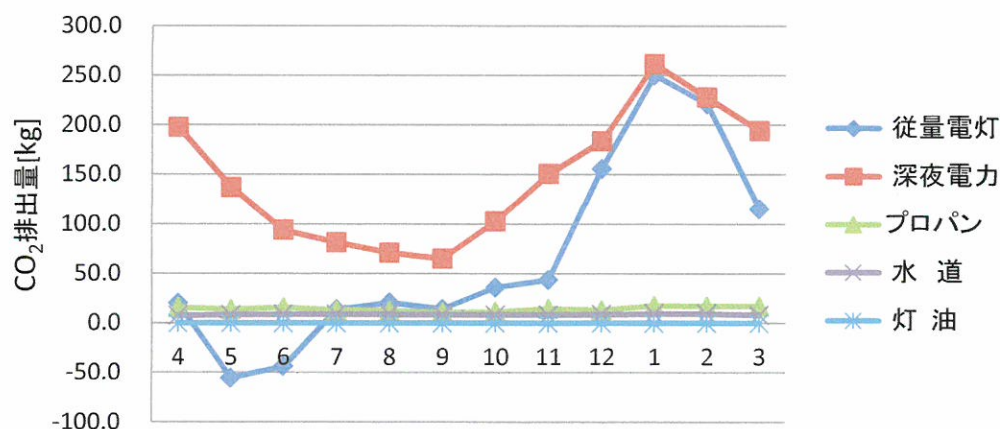
◎太陽光発電

◎太陽熱温水器

エネルギー別CO2排出量割合



月ごとのCO2排出量



コメント

太陽光発電により春夏期にCO2削減効果がある。
 冬期はエアコンによる暖房利用が増加している。
 高齢者、療養家族がいるのでやむを得ない。